

- 「ENAA 研究成果発表会 2022」開催のお知らせ
- 2022 年度 第 1 回 地熱発電・熱水活用研究会 開催報告

## ■ 「ENAA 研究成果発表会 2022」開催のお知らせ ■

「ENAA 研究成果発表会 2022」を下記要領にて開催いたします。

協会の委員会・研究会等での年度ごとの研究・調査の成果を広く会員各社の方々にご理解いただくとともに研究活動に対してご意見をいただき、今後の協会活動をより良いものにするを目的としています。2021 年度事業の主要な成果を発表いたしますので、是非多数の方々にご参加いただきたくご案内申し上げます。

なお、地下開発利用研究センターでは、当協会会議室とオンライン配信を併用して開催いたします。発表日時や申込み等の詳細は、次のとおりです。

1. 日 時 : 7 月 7 日 (木) 14:30~17:00
2. 開催方法 : 当協会会議室及び Zoom によるライブ配信
3. 参加費 : 無料 (会員限定)
4. 定 員 : 会議室 25 名(定員になり次第締切り)、ライブ配信 500 名 (Zoom ウェビナー)
5. プログラム : 次ページに掲載
6. 申込み要領 :
  - ① ENAA ホームページ内の研究成果発表会案内ページよりお申込み下さい。  
※賛助会員限定の公開情報につき下記 URL よりログインが必要です。  
<https://www.ena.or.jp/login>
  - ② 上記 URL からログインの後、7 月 7 日の登録リンク (下記 URL) よりウェビナー登録画面に進み、必要事項を記載の上ご登録をお願いいたします。  
[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_DJ3uCxoCRZebVA4eqc9KrQ](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_DJ3uCxoCRZebVA4eqc9KrQ)
  - ③ 講演資料は ENAA ホームページ内の成果発表会案内ページよりファイルをダウンロードしてください。(資料掲載予定日 7 月 5 日)
  - ④ 申込締切日 : 7 月 5 日 (火)
  - ⑤ 問合せ先 : 地下開発利用研究センター 中村  
TEL : 03-6441-2923 (直通)

## ENAA 研究成果発表会 2022プログラム (地下開発利用研究センター)

7月7日(木) 14:30~17:00

**開会の挨拶** <14:30~14:35 :5分>  
田中耕一(地下開発利用研究センター 所長)

**F-1** <14:35~15:00 :25分>  
**「地下開発利用研究センター 2021年度活動報告と今後の展開」**  
塩崎 功(地下開発利用研究センター 副所長 兼 技術開発部長)

**F-2** <15:00~15:15 :15分> 自主事業  
**「水素インフラ研究会」**  
若瀆 洋(株)ダイヤコンサルタント ジオエンジニアリング事業本部 地園環境事業部  
地盤水理部 副技師長)

**F-3** <15:15~15:30 :15分> 自主事業  
**「放射性廃棄物研究会」**  
池田孝夫(日揮(株) プロジェクトソリューション本部 原子力ソリューション部  
チーフエンジニア)

**F-4** <15:30~15:45 :15分> 自主事業  
**「計測技術研究会」**  
浅川真也(株)ダイヤコンサルタント 地質解析事業部 物性評価部 技師長)

休憩 10分 (15:45~15:55)

**F-5** <15:55~17:00> JKA補助事業&自主事業  
**全体テーマ:「ポストコロナの環境変化を考慮した地下インフラ再構築の調査研究」**

<15:55~16:00 :5分>  
**(全体説明)**  
斎藤俊哉(地下開発利用研究センター 技術開発部 担当部長)

<16:00~16:15 :15分>  
**(第1部会)「SDGsとニューノーマルに対応した多様な空間利用のあり方に関する調査研究部会」**  
藤井紀之(応用地質(株) 流域・砂防事業部 地盤防災部 部長)

<16:15~16:30 :15分>  
**(第2部会)「多様なハザードを想定した地下インフラの機能に関する調査研究部会」**  
大森剛志(東電設計(株) ジيوفロント本部 バックエンド技術部 地盤技術グループマネジャー)

<16:30~16:45 :15分>  
**(第3部会)「自動運転、MaaS等に対応した地下のインフラシステムに関する調査研究部会」**  
吉川 猛(基礎地盤コンサルタンツ(株) 技術本部 物理探査部 副部長)

<16:45~17:00 :15分>  
**(第4部会)「社会と環境の変化を踏まえた地下インフラ再構築技術に関する調査研究部会」**  
安藤 拓(清水建設(株) 土木技術本部 地下空間統括部 トンネル設計グループ長)

**【公開資料】(下記 URL)**

F-5:「ポストコロナの環境変化を考慮した地下インフラ再構築の調査研究」報告書  
<https://www.ena.or.jp/information/jka-subsidy-business/r03>

## ■ 2022年度 第1回 地熱発電・熱水活用研究会 開催報告 ■

5月13日（金）に2022年度 第1回「地熱発電・熱水活用研究会」を開催いたしました。今回も、会場参加（約10名）とオンライン参加（約90名）の併用による開催といたしました。

講演に先立ち、当研究会の海江田秀志委員長（（一財）電力中央研究所）から、日本地熱学会の2022年度学術講演会（11月8日～11月10日、東京都大田区産業プラザ P10 で開催）について、ご紹介いただきました。また、当研究会の副委員長が、2022年度より産業技術総合研究所の阪口圭一様から同じく産業技術総合研究所の相馬宣和様に交代されたという報告とともに、相馬様から新任のご挨拶をいただきました。

第1部では、環境省自然環境整備課温泉地保護利用推進室長の北橋義明様から「地域共生型の地熱発電の推進について」と題してご講演いただきました。

環境省による地熱開発加速化プランとして、自然公園法や温泉法の運用見直し等の実施に加え、環境省自らが率先して行動、再エネの促進区域の指定、科学データの収集・調査を実施し、円滑な地域調整による案件開発を加速化することとしています。10年以上の地熱開発までのリードタイムを2年程度短縮し、最短8年まで短くするとともに、2030年までに全国の地熱発電施設数（自然公園区域外を含む。）を現在の約60施設から倍増させることを目指しています。

自然公園法の地熱通知等の改正（概要）では、国立・国定公園の地熱開発に関する基本的考え方の整理や許可基準・審査要件の明確化を行ったことについて、ご紹介いただきました。また、地域共生型の地熱利活用を推進するため、大規模な地熱開発における地熱資源管理と掘削許可の考え方を整理し、「温泉資源の保護に関するガイドライン（地熱発電関係）」の改定を行っているのも、その概要についてもご紹介いただきました。

第2部は、地熱エンジニアリング㈱ 営業管理本部企画営業部長兼東京事務所長の荒井文明様に、「岩手県の膨大な地熱資源と開発加速化、そして地学教育の必要性」と題してご講演いただきました。

まず、東日本大震災後に地熱発電を促進させる制度が次々に決定されていく中、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた荒井様ご自身の地熱開発に対する決意表明について、紹介していただきました。次に、岩手県の膨大な地熱資源ポテンシャル、岩手県の地熱発電の現状、岩手県地学教育研究会での活動状況について、ご説明いただきました。昨今、地質調査・掘削技術者が極度に不足している現状があり、地学の魅力を認識するためにも地学教育が必要であると再認識するご講演となりました。



ご講演の様子（北橋義明様）



ご講演の様子（荒井文明様）